

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (令和3年度実績)

提出区分	実績	整理番号	1	課題区分	C	
横断的な課題	健康長寿と地消地産の推進を核とした地域づくり					
地域重点政策	健康長寿と地消地産の推進を核とした地域づくり					
実施機関	佐久地域振興局			担当課	所属	佐久農業農村支援センター
事業名	佐久の地域農産物PR事業 ～ afterコロナに挑戦 農産物の活用促進 ～			電話	0267-63-3145	
				E-mail	saku-nogyo@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	佐久地域の農産物等を地元消費者に対して需要喚起するとともに、afterコロナを見据え、宿泊・飲食業者に対して地元食材の魅力等を情報発信し、地消地産の推進を図る。				
	現状と課題	<p>○佐久地域には、プルーン、信州蓼科牛、佐久鯉など地域が誇る特産農産物がある。</p> <p>○佐久地域は移住者が多いため、地元農産物の食べ方、産地状況等が十分に認知されていない。</p> <p>○コロナ禍の中、国産農産物に対する関心が非常に高まっており、これを機に地元農産物の魅力を改めてPRすることが必要。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により宿泊施設や飲食店では利用者が大幅に減少しているため、afterコロナを見据え、地元農産物の活用など、利用者ニーズに合った対応が求められている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により花きの需要が大きく減少しているため、地元産花きの需要喚起を図ることが必要。</p>				
	内容 (変更後の内容)	<p>○地元食材の生産現場の様子、生産者の思い、地元食材の調理方法例を動画撮影し、地元消費者、観光客の皆さんへYouTubeで情報発信する。また、より多くの方へ広く広報するため、地元食材のPRチラシや購入場所の紹介チラシを作成する。</p> <p>○時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方としてテレワークが推奨される中、テレワーク実施者へ花のある空間の提供と、地元産花きの需要喚起を図るため、テレワークセンターへ季節ごとにアレンジメントフラワーを展示する。</p>				
事業期間	令和3年7月		～	令和4年3月		
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	動画撮影・YouTube登録	地元食材の生産・調理方法等の動画制作、公開	638,000			
	広告宣伝事業	地元食材の広報チラシの作成	200,000			
	広告宣伝事業	ポスター・チラシの郵送料	39,930			
	アレンジメントフラワー展示	アレンジメントフラワーの展示	260,000			
合計		1,137,930				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	制作動画の平均視聴回数		100回以上	8300回	<input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 一部達成 <input type="radio"/> 未達成	
	PRチラシの配布数		2,000枚	5300枚		
	アレンジメントフラワーの展示回数		8回	10回		
事業実績・成果	<p>【動画作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元食材のPR動画を3本作成し、12/24からYouTubeによる情報発信を行った。3月末までの3動画の視聴回数は8,300回余となり、多くの方に佐久地域の食材をPRできた。 ・動画PRのため、ポスター300枚、リーフレット5,000枚を作成し、市町村、直売所等で配布した。 <p>【花の展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月末からワークテラス佐久において週替わりで地元産花きを使ったアレンジメントをの展示を9回実施し、リゾートテレワークで利用する県外企業にも地元産花きを知ってもらうことができた。 ・12/13から1週間を「佐久 花の週間」とし、合同庁舎の玄関、各階エレベーターホール等に佐久の花(アルストロメリア)を展示した。 					
今後の方向性	引き続き地元食材等の魅力を発信し、地消地産の推進を図っていく。					